

お急ぎください 10月19日が開催日!

## 248回ゴム技術シンポジウム

### 成形加工工程における熱的安定化とその対策

#### ～生産性向上と工程安定化に向けた熱的取り組み～

主催：日本ゴム協会研究部会 成形加工技術研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本材料学会、日本レオロジー学会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本複合材料学会、日本接着学会、日本塑性加工学会、日本金型工業会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会 (順不同)

成形加工の各工程におけるトラブル対策を整理すると熱が要因となるトラブル事例が多く散見されます。ゴム製品の加工工程は、混練時の発熱や除熱、成形時の加熱や冷却操作、加硫時の加熱など様々な熱的課題があります。今回のシンポジウムでは、成形加工の各工程における熱的な挙動や伝熱問題などの課題についてご説明いただきます。皆さんのお仕事に役立つプログラムになっております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時：2018年10月19日(金) 10:00～16:40

場所：東京電業会館 地下ホール (東京都港区元赤坂 1-7-8 TEL: 03-3403-5181代)

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 23,760円、日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください (定員 80名)。

送金方法：銀行振込 (三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。

振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第248回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル1階)

TEL: 03-3401-2957 FAX: 03-3401-4143 E-mail: [kenkyuubukai@srij.or.jp](mailto:kenkyuubukai@srij.or.jp)

10:00～10:15 開会のあいさつ 成型加工技術研究分科会主査 近藤 寛朗

【座長】藤倉ゴム工業(株) 撰 隆文

10:15～11:15 混練り時間やCB分散への素練りゴム温度の影響

日本スピンドル製造(株) 岡本 浩二氏

混練り時間やCB分散に影響する、素する練りゴム温度について紹介する。

11:15～12:15 ゴム練りにおける伝熱の問題

久留米工業高等専門学校名誉教授 藤 道治氏

インターナルミキサーの伝熱の問題、オープンロールとの伝熱の違いなどについて述べる。

【座長】(株)平泉洋行 谷田部 豊将

13:15～14:15 接触式温度計によるゴムコンパウンドの動的な温度測定と展開

鈴鹿エンジニアリング(株) 矢田 龍生氏

動くゴムコンパウンドの温度を接触式温度計で動的に測定する際の課題について考察する。

14:15～15:15 ゴム成形工程での熱履歴課題への取組(押出機とギヤポンプ) (株)三葉製作所 堀内 健一氏

ゴム成形工程での熱履歴課題に対し、押出機およびギヤポンプ押出の特徴の紹介と提案する。

【座長】横浜ゴム(株) 佐藤 有二

15:30～16:30 金型を用いた成形加硫における効率的な加熱

元・豊田合成(株) 上嶋 桂二氏

金型成形生産性の向上に関わる「加熱における課題」として、伝熱の効率化、材料昇温の高速化、高温での加硫に着目し、それらへの対応に向けた考え方・手段について、他分野で用いられている参考となる事例なども含め、詳述する。

16:30～16:40 閉会のあいさつ 成型加工技術研究分科会副主査 佐藤 有二

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。